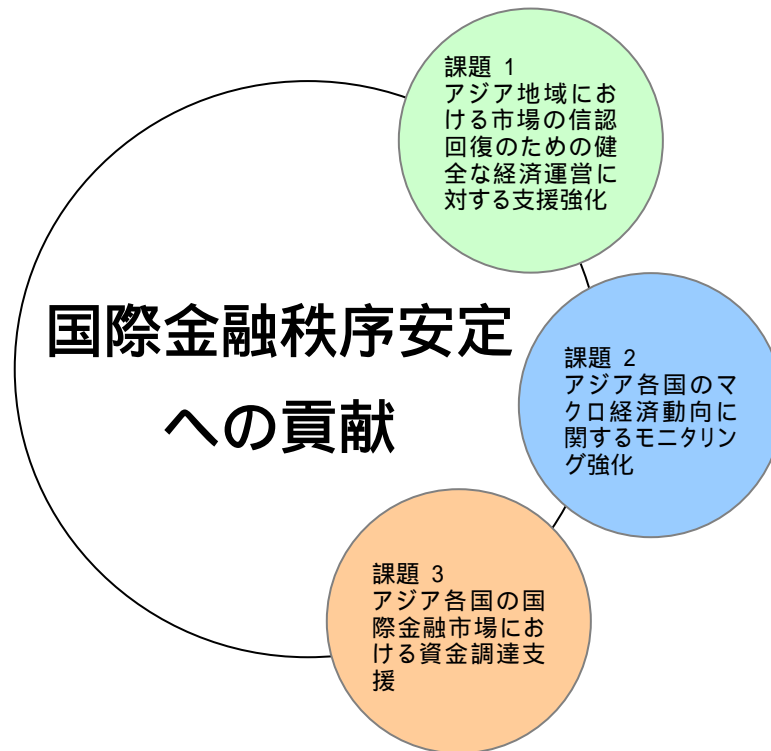


(1) 事業分野: 国際金融秩序安定への貢献



課題 4～8 国際金融危機発生時、あるいは危機に繋がる事象が発生した場合に想定される課題

効果的・効率的な危機收拾支援のための国際機関等との連携強化、早期危機收拾のための積極的貢献、社会的弱者への配慮の強化等

年間事業計画の狙い

本分野では、「アジア各国のマクロ経済動向に関するモニタリングを強化(課題 2)」し、アジア経済の動向や、各国の資金需要を把握した上で、アジア金融危機により損なわれた、「市場の信認回復に必要な健全な経済運営の支援(課題 1)」や、「民間資金の調達支援(課題 3)」を通じて、各国の国際金融市場からの資本流入の安定化に貢献することを目指している。

新たな国際金融危機や危機に繋がる事象が発生した場合には、「危機收拾策につき国際機関等との連携を強化し(課題 4)」、「適切な財政・金融政策等を通じた早期收拾を支援(課題 5)」、「民間資金の回帰を促して行く(課題 7)」。

その際、経済危機から社会危機へ繋がったアジア金融危機の経験も踏まえ「社会的弱者への配慮を強化(課題 6)」する。なお一連の支援は「可能な限り迅速に実施するよう努める(課題 8)」。

事業環境

アジア地域の開発途上国経済は、アジア金融危機後、総じて急速な回復を遂げ、また好調な輸出などを背景に、外貨準備も増加している(参考 1、2)。しかしながら、世界的な金利上昇による、資金調達コストの上昇や民間資金の急激な流出の可能性等、金融システムの脆弱性は完全には解消されておらず(参考 3)、引き続きアジア各国を中心にマクロ経済動向に関するモニタリング等を通じて、開発途上国の健全な経済運営に対する支援を着実に実施していく必要がある。特に、アジア金融危機のような事態の再発を防止するとともに、安定的経済成長を支えるためには、国内・域内の長期資金供給能力を高めることが不可欠であるという観点から、我が国政府が主導している「アジア債券市場育成イニシアティブ」等について、現地通貨建債券の発行、本邦企業の行う現地通貨建融資、本邦企業への現地通貨建て債券の保証等、各種機能の活用により、適切な貢献を行うことが求められている。

評価のサマリーと今後の対応

「アジア地域における市場の信認回復のための健全な経済運営に対する支援強化(課題 1)」については、アジア各国政府等とのマクロ経済政策にかかるきめ細かい協議が実施されており、適切な取り組みがなされている。引き続き健全な経済運営に対する支援を着実に実施していくことが重要である。

「アジア各国のマクロ経済動向に関するモニタリング強化(課題 2)」については、モニタリング対象国の一部について、審査上有用な情報の入手、ネットワーク形成及び知識の高度化・共有を図るなど、概ね適切な取り組みがなされている。国際金融秩序維持の観点から、危機に繋がる兆候の早期発見に繋がるよう、引き続き多様なネットワークを活用し、モニタリング内容の一層の充実に努めることが必要である。

「アジア各国の国際金融市場における資金調達支援(課題 3)」については、アジア向け民間資本フローの拡充に資する案件への支援や、アジア債券市場育成イニシアティブ(ABMI)への具体的な協力策についての検討が実施されており、適切な取り組みがなされている。引き続き我が国の対アジア政策を踏まえ、アジア地域債券市場の育成・発展にかかる取り組みを積極的に推し進めるとともに、ADB 等の国際機関、アジア各国の輸出信用機関(ECA)等とのネットワークも活用し、アジア諸国の連携強化に貢献していくことが重要である。

(参考 1) アジア主要国の GDP 成長率

(年率、単位：%)

	2001	2002	2003
東アジア	4.6	6.7	6.5
中国	7.3	8.0	9.1
香港	0.5	2.3	3.3
韓国	3.8	7.0	3.1
台湾	-2.2	3.6	3.2
東南アジア	1.9	4.2	4.6
インドネシア	3.5	3.7	4.1
マレーシア	0.3	4.1	5.2
フィリピン	3.0	4.4	4.5
シンガポール	-1.9	2.2	1.1
タイ	2.1	5.4	6.7
ベトナム	5.8	6.4	7.1
南アジア	5.2	3.9	6.9
インド	5.8	4.0	7.3
パキスタン	2.2	3.4	5.1
スリランカ	-1.5	4.0	5.5

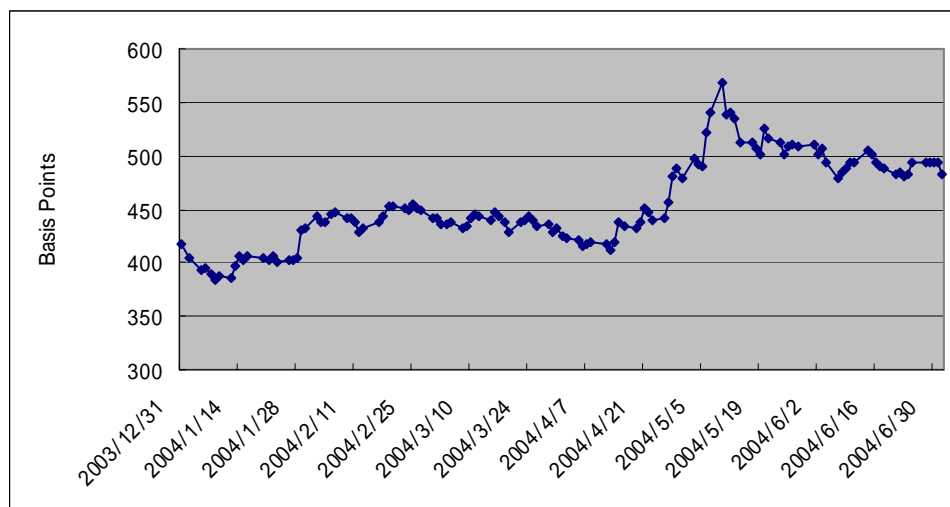
(参考 2) アジア主要国外貨準備の推移

(単位：10 億ドル)

	1997	1998	1999	2002	2003
東アジア					
中国	142.8	149.2	157.7	291.1	408.2
香港	92.8	89.7	96.2	111.9	118.4
韓国	20.4	52.0	74.0	121.3	155.3
台湾	83.5	90.3	106.2	161.7	206.6
東南アジア					
インドネシア	16.6	22.7	26.4	31.0	35.0
マレーシア	20.8	25.6	30.6	34.2	44.5
フィリピン	7.3	9.2	13.2	13.1	13.5
シンガポール	71.3	74.9	76.8	82.0	95.7
タイ	26.2	28.8	34.1	38.0	41.1
ベトナム	2.0	2.0	3.3	4.1	6.2
南アジア					
インド	24.7	27.3	32.7	67.7	98.9
パキスタン	1.2	1.0	1.5	8.1	10.9
スリランカ	2.0	2.0	1.6	1.6	-
日本	219.6	215.5	286.9	461.2	663.3
米国	58.9	70.7	60.5	68.0	74.9

(出典：ADB Asian Development Outlook 2000,2003,2004、IMF International Financial Statistics, December 2003, June 2004)

(参考 3) エマージング市場債券指数 (EMBI+) の推移



(出典：JP モルガン・エマージング市場債券指数(注))

(注) エマージング市場における対外債務のトータルリターンの実績を評価するためのもの。一般にエマージング諸国の資金調達コストを表す指標とされている)

課題の評価

課題	取り組み例	指標	2000	2001	2002	2003 (計画値)	2003	2004 (計画値)
(課題 1-1) アジア地域における市場の信認回復のための健全な経済運営に対する支援強化	アジア地域における市場の信認回復の観点からのマクロ経済運営改善に資する知的協力の推進	アジア地域における市場の信認回復の観点から、マクロ経済政策について当該国政府・国際機関等と協議を行った回数	19	23	35	28	38	37
評価 A	<p>1. 年間事業計画に掲げている目標/取り組み例に関する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> タイ、中国、マレーシアとのアジア債券市場育成イニシアティブ(ABMI)にかかる協議や、インドネシア、フィリピンの政府・政府機関とIMFプログラムや財政政策にかかるきめ細かい協議を実施するなど、関係省庁・政府機関と連携しながら、政策・施策にかかる提言等を適時適切に実施している。 <p>2. 追加的な目標/取り組み例に関する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 経済危機時における貿易信用収縮防止のための方策や、それに対する ECA の役割等にかかる IMF や WTO 主催の国際会議に参加し、1997～8年のアジア金融危機時における本行による支援経験の紹介や、問題解決のための WTO の役割等について問題提起を行い、国際的な議論の進展に貢献した。 <p>3. 課題への取り組み状況の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題への適切な取り組みがなされている。 アジアを中心とした開発途上国経済は総じて急速な回復を遂げているものの、金融システムの脆弱性は完全に解消されておらず、効果的・効率的な危機防止・収拾支援のため、国際機関等との政策協議・連携強化も含め、引き続き健全な経済運営に対する支援を着実に実施していくことが重要である。 							
	(課題 1-2) アジア各国のマクロ経済動向に関するモニタリング強化	マクロ経済動向を定期的にモニタリングするアジア地域の国数の拡充	マクロ経済動向につき個別に審査を行ったアジアの国数	13	11	15	14	11
評価 B	<p>1. 年間事業計画に掲げている目標/取り組み例に関する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> マクロ経済動向につき審査を行った国については、計画値を若干下回った。 モニタリング手法の類型化による効率的な作業の実施を図っている。 <p>2. 追加的な目標/取り組み例に関する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> モニタリング対象国の一部については、外部有識者との意見交換の実施や、金融セクターに関するセミナーの実施等により、審査上有用な情報の入手、ネットワーク形成及び知識の高度化・共有を実施している。 <p>3. 課題への取り組み状況の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題への概ね適切な取り組みがなされている。 国際金融秩序維持の観点からは、危機に繋がる兆候の早期発見につながるよう、引き続き多様なネットワークを活用し、モニタリング内容の一層の充実に努めることが必要である。 							

A・・・適切な取り組みがなされている。 B・・・概ね適切な取り組みがなされている。 C・・・取り組み状況を踏まえた新たな対応策が必要。

・・・外部環境の変化等により評価不能。

課題	取り組み例	指標	2000	2001	2002	2003 (計画値)	2003	2004 (計画値)
(課題 1-3) アジア各国の 国際金融市場 における資金 調達支援	アジア地域向け民間 資本フローの拡充につ ながる案件に対する支 援	アジア地域向け民間 資本フローの拡充に資 する案件による中長期 民間資本流入額(モ ニタリング指標)	220 億円	402 億円	578 億円		275 億円	
評価 A	<p>1. 年間事業計画に掲げている目標/取り組み例に関する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 中長期民間資本流入額に関する指標については、民間金融機関のアジア地域向け融資への本行保証供与額を計上しているが、アジア各国の経済回復動向等も反映し、指標実績は減少しているものの、2002年度はインドネシア向け1件の実績であったのに対し、2003年度は中国、フィリピン、マレーシアと対象国が複数にわたっている。 <p>2. 追加的な目標/取り組み例に関する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> アジア債券市場の育成・発展に積極的に貢献するべく、日本政府のアジア債券市場育成イニシアティブ(ABMI)策定にあたり、同政府と特に密接に連携している。 同イニシアティブの下、現地通貨建債券の発行、現地日系企業の発行する債券に対する保証等、様々な機能を活用した具体的な協力策について、法制度等各国の個別事情を踏まえた上で、早期の案件の実現に向けて開発途上国政府等との協議を実施している。 <p>(参考)2004年5月には同イニシアティブに基づく第1号案件として、現地日系企業のパーツ建て社債への保証を実現している。</p> <p>3. 課題への取り組み状況の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題への適切な取り組みがなされている。 引き続き、我が国の対アジア政策を踏まえ、アジア地域債券市場の育成・発展にかかる取り組みを積極的に推し進めるとともに、ADB等の国際機関、アジア各国のECA等とのネットワークも活用し、アジア諸国の連携強化に貢献していくことが重要である。 							

(参考)以下の課題は、国際金融危機が発生した場合、あるいは危機に繋がる事象が発生した場合のものとして念頭に置くもの。

課題	取り組み例	指標	2000	2001	2002	2003 (計画値)	2003	2004 (計画値)
(課題 1-4) 効果的・効率的な危機收拾支援のための国際機関等との連携強化	危機收拾のための国際機関等との協調融資の活用	-						
(課題 1-5) 早期危機收拾のための積極的貢献	早期危機收拾のための財政・金融政策等に関する開発途上国政府、我が国政府、国際機関等に対する提言発信	-						
(課題 1-6) 社会的弱者への配慮の強化	社会的弱者の救済を目的とする融資の提供	-						
(課題 1-7) 危機收拾のための民間資金の活用	開発途上国向け民間資本フローに対する保証の提供	-						
(課題 1-8) 危機收拾支援の迅速な実施	危機発生後、融資実行までの期間の短縮	-						